

沖縄ダルクへの献金・献品を頂き、誠に有難うございます。
心より感謝いたします。

合計 376,300円

4月1日～4月30日到着分の献金

- ・(株)沖縄歯科器材 ・長久保江世 ・玉城志保 ・宜野座哲 ・荻野恵美子 ・小野里欣子
- ・小野里篤美 ・坂本純子 ・江原二郎 ・ヒューバー和恵 ・中村綾子 ・中村澄子
- ・弁護士 寺田明宏 ・聖マリアの汚れなき御心のフランススコ姉妹会 ・鈴木昌
- ・与那原第一修道院 ・聖クララ修道院 ・博愛病院 ・高良京子 ・佐和田ゆかり
- ・恩納村更生保護女性会 ・沖縄県自立生活支援センターイルカ
- ・南城市更生保護女性会 ・森下幸子
- ・ハヤシユメリ ・カメカワイサク ・ヤスダキリエ ・オサワケイタ ・スズキエリ

その他匿名の方々

※カード決済・口座振込等の方は一部カタカナ表記となっております。
※順不同

4月1日～4月30日到着分の献品

- ・金武バプテスト教会 ・高山千穂 ・上坂俊介 ・鳥八亭 ・仲松隆弘 ・安里美津子
 - ・宮城先生(金武) ・井辺郁美
- ※順不同

献金はカード決済の他、下記銀行からのお振込みも可能です。

■ゆうちょ銀行

記号：17040
番号：12632141
店番：708
普通：1263214
店名：七〇八(ナナゼロハチ)

■琉球銀行

大謝名(オオジャナ)支店
口座名義：沖縄ダルクを支援する会
普通：485858
店番：508



編集 沖縄ダルク
〒901-2225
沖縄県宜野湾市大謝名2-2-10
ABS大謝名ビル4F

発行 九州障害者定期刊行物協会
〒812-0068
福岡県福岡市東区社領1丁目
12番4号

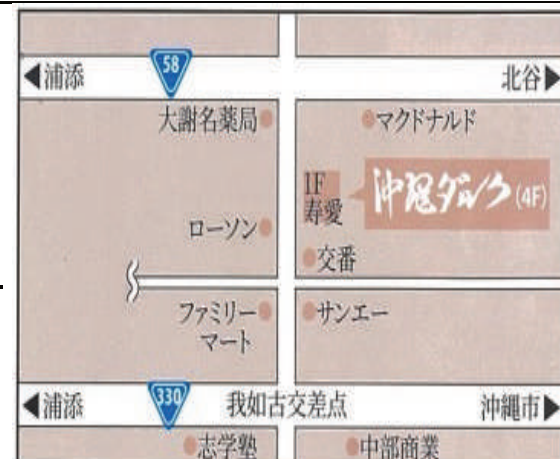
ホームページはこちら

沖縄ダルク

検索

<https://www.okidarc.or.jp/>

定価100円(会費に含む)



OKINAWA Drug Addiction Rehabilitation Center OKINAWA DARC MESSAGE
DARC 沖縄ダルクからのメッセージ

Q S K
2024年
No.214



皆さま、こんには。沖縄は平年より11日遅い梅雨入りとなりました。先日は警報級の大雨となりましたが、沖縄地方では昨年9月以降から水不足の傾向にあり、恵の雨となりました。しかし、沖縄の梅雨時期の湿気は強烈で不快指数も高く、体調を崩しやすい時期でもあります。私も先日胃腸炎を患い、楽しみにしていた出張をキャンセルしました。6月には水納島キャンプも控えており、天気が気になるどころです。

10月23日に開催が決まりました沖縄ダルク30thフォーラムも、気が付けばあと5か月ということで、準備にも焦りが見えてきました。節目の大きなフォーラムということで、気持ちも無駄に気負っている今日この頃ですが、30年の歩みを振り返るようなフォーラムにしたいと思っています。開設当初からは時代も変わり、沖縄ダルクの形も変化しました。特に障害福祉等の制度を導入してからは、これまでにない事務作業に追われ、分厚い事業所ハンドブックを片手に手探りの中業務に取り組んでいたことを思い出します。あの時期にたくさんの事学び、そして変化に伴う葛藤に揺さぶられながら過ごした日々は、今の私の土台の一部になっています。

フォーラムでは開設当初に関わった仲間の皆さんにもお話して頂く予定です。とても楽しみにしています。今年平日開催ではありますが、たくさんの方のご来場をお待ちしております。プログラムが決まり次第、ホームページ等で公開致しますので、宜しくお祈りいたします。

代表理事 佐藤 和哉

INDEX

- P1 巻頭文
- P2 体験談 ～タイゾー～
- P3 施設内アンケート
- P4 G.Wレクリエーション

- P5 エイサー演舞
- P6 30周年フォーラム案内
- P7 編集後記&活動報告
- P8 献金献品の報告

埋め合わせ



沖縄ダルク金武クラシオン
高浦 泰三

みなさんこんにちは。
私事ですが、今年の4月に私の地元である神奈川県の実家へ里帰りさせて頂きました。
沖縄ダルクに繋がって6年目。
時間はかかりましたが今回里帰りですべて父の墓参りを行う事ができました。

私の父は私をダルクへと繋げてくれた人です。
約10年前に私が薬物関係で逮捕された際、父が留置場まで面会に来てくれました。
その時に「あなたは病気だからダルクへ行きなさい」と言われたのを今でもよく覚えています。
なぜなら私自身、ダルクへ行く事が嫌で嫌で仕方なかったからです。

逮捕時、27歳くらいの私はこれから4~5年の懲役に行き、その後またダルクのような施設へ繋がることは先の事を考えると嫌で仕方なかったのが正直な気持ちでした。
それから懲役生活の中、年に1、2回父から関東のとあるダルクと沖縄ダルクのニュースレターを送ってくれるようになりました。
本当は満期でシャバに出て自分の好きな生き方を考えていました。

しかし私自身、少年の頃から非行を繰り返し、数えきれないほど迷惑を両親にかけてきました。
そういった事を考えていくうちに「1度ダルクに顔を出して親を安心させた方がいいのでは」と考えが変わっていききました。
そんなことから刑務所満期出所後、私は沖縄ダルクへと繋がりました。
ダルクへ繋がって約2ヶ月後、私の父は他界しました。
それから今回の里帰りまで1度も墓参りに行く事ができていませんでしたが、遂に父のお墓の前で手を合わせる事ができました。
そして、母への埋め合わせも少しではありますが出来たと思います。

私の母は現在、難病と戦いながら実家で一人で生活しています。

歩行も難しく、家では歩行器、外では車椅子を使用しなければなりません。
私の記憶は10数年前のまま、
当時元気に生活して会話していた母が難病と戦っている姿、
そして車椅子での生活、正直見ていると辛く、上手く言葉に出来ません。

現在、私は只々クリーンを続け現実を受け入れるよう心掛けています。
今回の里帰りですべて父の墓参り、母の車椅子を押して色々な所に出かけたり、
自分にとって埋め合わせの第一歩が出来たと思っています。

これからも自分のため、そして私を応援してくれている人達のためにも、
自分の歩幅で歩み続けたいと思います。

What's Meeting?

ミーティングって?

依存症回復プログラム「ミーティング」

1985年に近藤恒夫氏がDARCを創設した時から回復プログラムに「ミーティング」は基本とされてきました。色んな変化を遂げる中、現在においてもその基本は変わっていません。

「ミーティング」は回復にどんな効果があるのか?
数名にアンケートしてみました。

質問「ミーティングってどんな効果がある?」 「ミーティングについてどう思う?」

仲間A (1年4ヵ月クリーン)

- ・何かしら気づきがある。
- ・普段言えない事が言える。
- ・1日3回は正直キツイ。

仲間B (1年2ヵ月クリーン)

- ・色んな話が聞けて気が付ける事がある。
- ・自分自身を考える(振り返る)事ができる。

仲間E (1ヵ月クリーン)

- ・1日3回の時は正直しんどい
- ・色んな話が聞けるので色々考えられる。

仲間D (3年クリーン)

- ・気が付く事がある。
- ・やり過ぎると変なモードに入る時がある。

仲間F (2ヵ月クリーン)

- ・分かち合える
(ミーティング後など話かけてくれる。
逆に話しかける事もできる。)

仲間C (2年クリーン)

- ・自分の調整ができる。(調子など)
- ・考えの整理ができる。

仲間E (3ヵ月クリーン)

- ・回数が多い
- ・相手の気持ちが良くわかるようになる。

ミーティングの効果は人によって差はあるものの、依存症である事での共感力は回復に欠かせない要素です。
クリーンが長くても自分自身と向き合えず、ミーティングの話も受け止められない仲間もいます。ミーティングでの気づきは誰かに言う必要はなく、自分の中で「なるほど」「そうか」など気づく事が第一歩かと考えます。
毎日3回は多すぎだと思うこと、あります。



G.W レクリエーション

今年のゴールデンウィークも各ハウス毎にそれぞれがイベントを企画して楽しみました。沖縄ならではの海遊び、釣り、ゴルフなど、天候にも恵まれ屋外でのレクリエーションも存分に楽しめました。どのハウスも「BBQ」は共通イベントとして実施していましたが、みんなで食べる屋外でのバーベキュー、最高ですね。

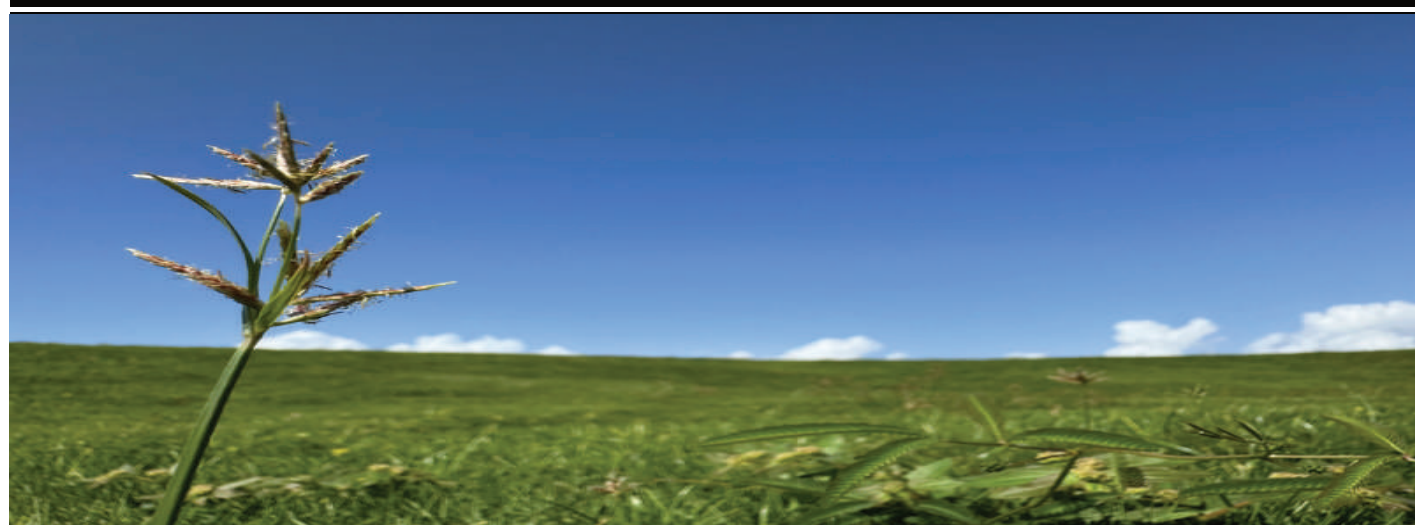


エイサー演舞

4月26日南城市更生保護女性会定期総会でエイサーのご依頼を頂き、披露させて頂きました。公的組織である法務省、地方更生保護委員会、保護観察所などと並び、更生保護女性会は民間組織として地域社会の犯罪や非行の未然防止、青少年の健全な育成を助け、犯罪を犯した人や非行少年の改善更生に協力しているボランティア団体です。

沖縄県内にも23団体もの更生保護女性会があり、当施設も大変お世話になっております。依存症が1人で回復できない事と同様、社会に復帰し生活していく時には多くの方の手助けが必要となります。いつでも誰かに助けて貰いながら回復を続ける事ができている事を忘れず、当たり前ではなく”有難い事”だと常日頃感謝しながら、今後も歩んでいきたいと思っております。





創設30周年記念フォーラム テーマ 感謝 ～30年の歩み～

沢山の方々のご協力・ご支援により、お蔭様で沖縄ダルクは30周年を迎える事ができました。その感謝を込めて沖縄ダルクフォーラムを開催いたします。仲間たち全員で作っています、ぜひご参加ください。



日時：10月23日（水）10：00～17：00
場所：沖縄県男女共同参画センター「ていりる」
那覇市西3丁目11-1



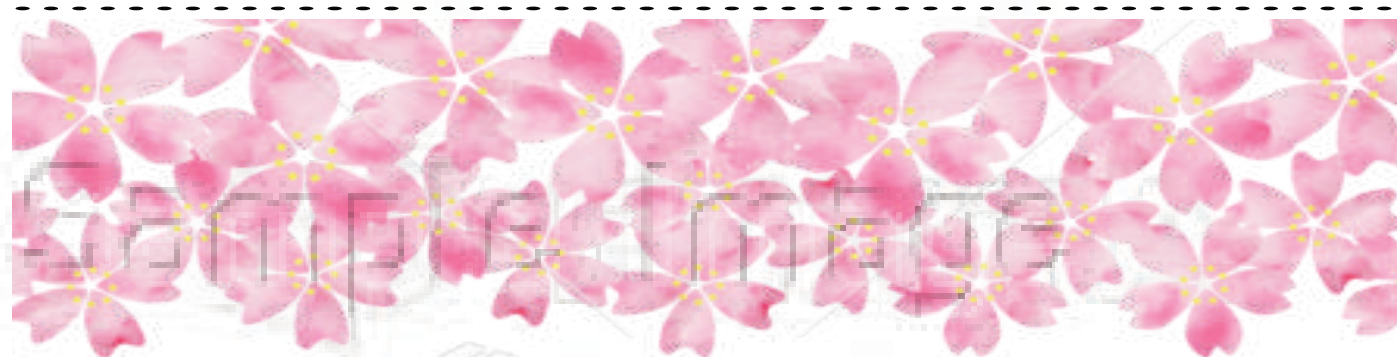
編集後記

お蔭様でゴールデンウィーク中も、仲間達に怪我などの問題はなく無事に過ごすことができました。この連休が明けると沖縄には梅雨が来て「夏」がきます。5月で沖縄に来て11年が経ち、12年目に突入しました。最近では体感する季節感も沖縄寄りになってきたのか、生まれ育った東京の春はどんなだったか、夏はどれくらい暑かったか、冬の寒さはどれほどだったかなど、分からなくなる事があります。本当に不思議なものです。

今月の半ばに名古屋と三重に行きました。賑やかな街は嫌いではないですが、久しぶりに味わう人込みや車の多さに少々疲れてしまいました。今の私の回復状況ではまだ都会は早い気がします。周囲のスピードに圧倒されて再び自分を見失ってしまう気がします。

6月は1年の半分、折り返しとなる月です。あっという間の半年間、ここ数年は月日の経過が年々早く感じてきているように思います。しかしながら毎日平穩に過ごす事ができているというのは本当に幸運で有難いと思っています。今後もこのまま穏やかな生活を続けられる事ができるように落ち着いて一歩一歩進んでいきたいものです。

Staff タロウ



4月活動報告

毎週金曜日朝7時 宮内一郎のトーク&トークショー（火曜日17時再放送）

毎週月曜日 エイサー練習

毎週木曜日 ヨガ

毎週金曜日 ボランティア活動

- | | | |
|-----|--------------------|-----------------|
| 10日 | 他施設スポーツ交流 | 瀬長島野球場 |
| 13日 | 佐賀ダルクフォーラム 参加 | |
| 18日 | エイサー本番 | 北谷ヒルトンホテル |
| 26日 | DV防止を考える講座 手伝い | 沖縄県総合福祉センター |
| 26日 | エイサー本番 南部更生保護女性会総会 | 南城市大里農村環境改善センター |